

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社日立製作所		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	
本票作成	部署名：システムサービス部 経営戦略統括本部 環境推進本部 環境整備センタ				
主たる業種	分類コード	29	業種名：電気機械器具製造業		
事業の概要	岡山地区の営業活動及び情報処理サービス業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	日立システムプラザ岡山		-	
	②	金融システム事業部		岡山県岡山市北区柳町1-1-1	
	③	中国支社 岡山支店		岡山県岡山市北区下石井一丁目1-3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 ( 5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 △20.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input type="checkbox"/> 原単位基準							
温室効果ガス排出量	基準年度 (令和 元 年度)			目標年度 (令和 6 年度)					
	19,966 t CO <sub>2</sub>			23,960 t CO <sub>2</sub>					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (令和 元 年度) の排出量					
	①	日立システムプラザ岡山		19,589 t CO <sub>2</sub>					
	②	金融システム事業部		319 t CO <sub>2</sub>					
	③	中国支社 岡山支店		48 t CO <sub>2</sub>					
				t CO <sub>2</sub>					
			t CO <sub>2</sub>						
			t CO <sub>2</sub>						

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量	
		基準年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (令和 元 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

①日立システムプラザ岡山
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク浸透等の顧客ニーズ拡大によるクラウド事業伸長に伴う電力量(温室効果ガス)の増加を抑制する。</li> <li>・省エネ法に基づき、業務用機器電力の比(原単位)について年1%以上の削減を計画的に実施する。</li> </ul>
②金融システム事業部、③中国支社岡山支店
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テナント入居者としてビルオーナー実施するの省エネルギー施策/活動への協力/参加を継続し、温室効果ガスの排出削減に努める。</li> </ul>

**【目標削減率達成のための推進体制】**

- ・ISO14001認証取得の一部門として環境マネジメントシステムの運用体制を維持し、推進責任者の管理下で省エネ活動を実施。
- ・省エネエネルギー法に基づきエネルギー管理体制を維持し、エネルギー使用(削減)状況のモニタリングを継続。
- ②金融システム事業部、③中国支社岡山支店
- ・部門責任者を取り纏め役とし、株式会社日立製作所の全社活動であるエコマインド教育を全員が受講して環境配慮の業務(省エネエネルギー・省資源等)の実施、環境配慮型の製品及びサービスを顧客に提供するスキルの向上を図る。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
①日立システムプラザ岡山	(令和元年度実施) 1. 空調機の稼働台数削減及び設定温度の変更 2. マシン室の空調条件の最適化 3. 高効率型空調機へ計画的な更新 (CO2排出量を更新前の15%削減) 4. 空調室外機への太陽光遮光による機器温度上昇抑制 (CO2排出量2%削減) 5. 照明灯のLED化 (CO2排出量を更新前の44%削減) 6. クールビズ・ウォームビズ運動実施
②金融システム事業部 ③中国支社岡山支店	1. 空調機の空調機の交互運転及び設定温度の変更 2. 窓からの赤外線遮熱、放熱抑制 3. エコマインド教育の全員受講による省エネ・省資源意識向上とスキル維持 4. 働き方改革による残業削減 5. ビルテナントオーナー、ビルサービス/管理会社の省エネ施策に協力 6. クールビズ・ウォームビズ運動の実施

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
①日立システムプラザ岡山	(今後実施予定) 1. 照明設備のLED化の継続 2. 高効率空調機への更新継続 3. クールビズ・ウォームビズ運動の継続
②金融システム事業部 ③中国支社岡山支店	(今後実施予定) 1. ビルテナントオーナー、ビルサービス/管理会社の省エネルギー施策への協力 (ビルテナントとして可能な活動を実施) 2. クールビズ・ウォームビズ運動の継続 3. 休日出勤、時間外勤務の削減 4. テレワークによる業務の拡大

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山の保有地 (岡山リサーチパーク) 内に森林 (広葉樹林) を保有し、保全・維持を実施。
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山の敷地内に電源自立型(ソーラーパネル付)屋外灯を設置し、維持(2個所)。
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ①日立システムプラザ岡山では、毎年会社支援の下で社員のボランティアにより、事業所周辺のクリーン化(清掃)活動を実施しており、地域への社会貢献を兼ねた地域美化・緑地保全により間接的に地球温暖化の防止を図っている。
- ②平成29年9月に開設の事業所(金融システム第一事業部：令和元年度の温室効果ガスの排出量は10tCO2、令和元年度の排出量に算入済み。番号①～③の排出量の合計19,956tCO2+10tCO2として記載)は、2020年3月末で事業所として閉鎖した。

以上